

【町からのお知らせ・保存版(8/25全戸配布)】 令和2年度・第44回奥多摩町総合防災訓練 感染拡大状況における自然災害発生時の避難

9月6日(日)は防災訓練の日です。

今回は、新型コロナウイルス感染症感染防止・熱中症予防に伴い、町民皆様に参加いただき、各自治会での避難訓練・初期消火訓練などは実施しません。

しかしながら、昨年台風19号災害のように、当町においても感染症の収束までの間、いつ何時、自然災害が発生するか分かりません。

感染拡大状況における自然災害発生に備え、下記のとおり防災訓練を実施いたしますので、各ご家庭で訓練を実施してくださいようお願いいたします。

【わが家の震災訓練の実施要領】

9月6日(日)午前9時 防災行政無線等でサイレン鳴動(大地震発生想定)

① 火気の使用を一時中止し火の元を点検

② 机の下など安全な場所に避難

③ 非常持ち出し袋の点検

⇒ 一昨年・全戸配布済み。今回は感染予防のため、マスク・消毒液などの衛生用品を追加しておいてください。また、実際の避難時は、さらに体温計も追加して避難してください。

④ ハザードマップ(土砂災害警戒区域)の確認

⇒ 昨年・全戸配布済み。いま一度、ご自宅やお住いの地域、避難所までの危険箇所を確認してください。

⑤ 避難先の検討

⇒ 感染拡大状況においては、避難先での感染予防にも留意しなければなりません。

国(消防庁・内閣府)においては、市町村が設置する避難所への避難の前に、避難とは「難」を「避」けることとして、安全な場所の親戚・知人宅に前もって避難することも含め、事前に検討するよう周知啓発しています。

現在、町では、避難所が感染防止対策としていわゆる3密状態とならないよう、従来の避難所だけでなく、避難者数・被害状況に応じて、避難誘導の見直しを図っています。

次ページ以降、現在、町が想定している「避難誘導一覧」、国(消防庁・内閣府)が示す避難行動判定フローをお知らせしますので、これらに基づいてご家庭内で避難先をご検討ください。

■問い合わせは・・・総務課危機管理担当・交通防災係
TEL 0428-83-2349(総務課直通)

奥多摩町避難誘導一覧<令和2年8月25日現在>

～新型コロナウイルス感染症感染拡大時における自然災害発生時の避難～

【避難のポイント】～ 国（消防庁・内閣府）より5つのポイント（要約）～

- ① 避難とは「難」を「避」けること（安全な場所であればそのまま待機）
- ② 避難所だけでなく、安全な場所の親戚・知人宅への避難の検討を
- ③ 避難時は、非常持ち出し品のほか、マスク・消毒液・体温計の持参を
- ④ 災害の状況に応じ、町として避難所を変更・増設する場合あり
⇒下記一覧参照（健康で車で移動可能な方は、地域の学校・体育館に避難を）
- ⑤ 豪雨時の屋外移動は、車も危険（万一、車中泊の際は浸水要注意）

【避難先一覧】～ 太枠内 ⇨ 感染疑い時の避難先 ～

○感染疑い・・・発熱やせきなど比較的軽い風邪の症状、味覚・臭覚の異常

段階	地域	健康状態	避難場所	留意点			
自助	全 町	全て	自宅内でより安全な場所 (垂直避難など)	<u>感染疑い</u> 時は個室			
共助	全 町	全て	親戚宅・知人宅 (同宅内でより安全な場所)	<u>感染疑い</u> 時は個室			
公助	避難少	健康	全 町	地域の生活館など *主に高齢者など徒歩の方	概ね20名まで		
			古 里	古里小学校・体育館	車で移動可能な方は、生活館などではなく、各学校・体育館などへの避難を要請		
			氷 川	氷川小学校・体育館			
	小河内		水と緑のふれあい館				
	避難多		古 里	旧古里中学校・体育館			
			氷 川	奥多摩中学校・体育館			
			小河内	水と緑のふれあい館 ⇒奥多摩中学校・体育館		※選択肢として、校庭での「車中泊」も選択可	
	避難少		<u>感染疑い</u>	古 里	文化会館	パーティションで間仕切り対応	
				氷 川	福祉会館		
				小河内	旧小河内中学校・校舎	各教室に世帯ごとに避難誘導	
				避難多	古 里		古里小学校・校舎 ⇒旧古里中学校・校舎
					氷 川		氷川小学校・校舎 ⇒奥多摩中学校・校舎
小河内		旧小河内小学校・校舎 ⇒奥多摩中学校・校舎					

※ 万一の災害発生時には、その状況に応じて避難先を防災行政無線・町ホームページなどを通じ広報します。最新の情報に基づき、避難してください。

いざというときのために確認しておきましょう!

避難行動判定フロー

資料：内閣府・消防庁

スタート!

あなたがとるべき避難行動は?

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

●ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか?

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能です。**
●土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保することも可能です。**

ご自身または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか?

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日ごろから相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日ごろから相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

参考 避難の目安となる5段階の警戒レベル

資料：内閣府

警戒レベル	避難情報など	住民がとるべき行動
5	災害発生情報 ^{※1}	●すでに災害が発生しているので、命を守るための最善の行動をとる。
4	避難勧告(避難指示(緊急)) ^{※2}	●危険な場所にいる全員が避難場所等へ、速やかに立ち退き避難をする。 ●避難場所への移動がかえって危険と思われる場合は、近隣のより安全な場所・建物等への避難や、そのときいる建物内のより安全な部屋に移動する。
3	避難準備・高齢者等避難開始	●危険な場所にいる高齢者等の要配慮者とその支援者は避難場所等へ立ち退き避難を開始する。 ●その他の人は避難の準備を整える。防災気象情報などに注意し、自発的に避難を開始する。
2	注意報(大雨、洪水など)	●避難に備え、ハザードマップなどで避難行動を確認しておく(避難場所や避難経路、避難のタイミングなど)。
1	早期注意情報	●最新の防災気象情報に注意するなど、災害への心構えを高める。

※1 災害発生情報は、市区町村が災害発生を把握した場合に発令されます。ただし、必ず発令されるわけではありません。

※2 避難指示(緊急)は、地域の状況に応じて緊急的、または重ねて避難を促す場合等に発令されます。ただし、避難勧告が発令されたあとに必ず発令されるものではありません。

台風・大雨時の避難には様々な避難行動があります

住んでいる地域の
ハザードマップを確認



自宅が安全

自宅が安全なので家で避難
備蓄もしっかり一週間分



在宅避難

避難が必要



自治体の避難情報発令前
親戚や知人宅に早めの避難



自主避難

自治体の避難情報発令後
すみやかに避難



避難所

避難の際には、
マスク、体温計、水・食料、
薬、消毒液等の衛生用品は
各自で持参を



屋外避難が危険な場合などは、建物内の安全な部屋や
近くの頑丈な建物の上層階等へ避難



垂直避難

⚠ 車での一時避難
(車中泊) 等をする場合、必ず駐車
場所の安全を確認し、
エコノミークラス症
候群等にもご注意ください



車中泊等

命を守るため、最善の行動を



令和2年度・第44回奥多摩町総合防災訓練

「わが家の震災訓練」実施資料【保存版】

～令和2年9月6日実施・8月25日全戸配布～

【発行】奥多摩町総務課危機管理担当・交通防災係 Tel0428-83-2349